

横浜市関係

- 3 市会第七委で各党、家事用水道料金的大幅アップを質問
- 4 水道料金値上げに関する市会聴聞会開かれる。公述人二人のうち賛成一、条件付賛成一〇、反対一
- 7 横浜大洋、主催ゲーム観客動員数一〇〇万人突破を記念して、市に一〇〇万円寄贈。▽全国市長会の行政訴訟事件数実態調査によると、本市は四二件を抱え全国六四五市中第四位(今年四月現在)
- 8 旭区民会議での提案による保土ヶ谷バイパス高架下の本村スポーツ会館完成
- 10 水道料値上げ減額修正案(用途別総平均で今年一〇月から一八・〇四%、来年一〇月から三九・〇五%のアップ)等可決して七月臨時市会閉会
- 11 市長、建設相を訪れて市の道路・河川・下水道・公園整備等に関する国の来年度事業費大幅増額を要望
- 14 飛鳥田前市長、「額面一、五九三万円」の退職金請求書を提出
- 17 比国帰りの南区の男性が真性コレラ
- 21 市長、横浜港振興協会と懇談。協会側「道路事情の改善」を要求
- 22 サンジエゴ市民八人が市長を表敬訪問。▽横浜で今夏最高の三五・七度
- 23 市長、新貨物線反対同盟と初の会談
- 25 市長、市会全員協議会で「横浜駅東

自治体・国・社会

- 1 円高続く、一ドル一八七円の新高値。▽植村甲午郎経団連名誉会長死去(84才)。3 東京スモン訴訟、国と製薬三社に三二億円の慰謝料支払いを認める(東京地裁)。4 故古賀政男氏の国民栄誉賞授賞式。6 ローマ法王パウロ六世死去(80才)。7 本年一月一日現在の神奈川県単別人口統計まとめ。平均年令三一・〇一才、老年人口五・七%。9 神奈川県下の進学率下降続く。今年度高校へ九三・二%、大学へ三九・三%。11 人事院、一般職国家公務員の五十三年度給与改定平均三・八四%を勧告。▽東京都で給水制限始まる。▽経企庁、五十三年度経済白書を発表。12 日中平和友好条約調印(北京)。15 三三回目の終戦記念日に「ゼロ戦」が厚木基地上空を慰霊飛行。20 夏の全国高校野球大会PL学園(大阪)が優勝。▽総理府、「子ども」の意識に関する世論調査(小学五・六年、中学生)まとめ。将来の希望職業男子は「野球選手」がトップで上級になるほど「公務員」等が高まる。26 新ローマ法王ヨハネス・パウロ一世誕生。28 鎌倉市長に中道・保守の渡辺隆(59才)前収入役。正木氏に四千票差(二

横浜市関係

- 口開券計画変更案」を説明。出島地区は新会社が分担へ
- 29 入船小教員配転問題で、教員二人の不利益処分不服申し立てに對して、人事委「市教委の転任処分を認める」裁判決
- 30 横浜商工会議所が横浜シティ・エア・ターミナル構想を発表。予定地神奈川区大野町の一万㎡で来夏開業をめざす
- 31 市長、広報企画審議会に「今後の市の広報・広聴の在り方」について諮問
- 1 市長、金森三菱重工工業社長と会談、横浜造船所の金沢移転と跡地開発の基本的方向は変わっていないことを確認
- 6 市民の水源地、城山町など六町村へ市民の使節団がお礼参り
- 7 市立帷子小統合問題で、市の統合移転決定に對して「納得できる資料と補償」を要求している天王町分校の父兄が、児童九五人に登校拒否させ、集会所で自習
- ▽南区に新婦人会館がオープン
- 9 「大通り公園」がオープン、「石の広場」の野外ステージで開園式
- 10 帷子小統合移転問題、宅開要綱切離して一応収拾。市会正副議長に仲介要請
- 11 「ヨコハマさわやか運動」の市本部設立総会開かれる。一〇月一日を全市統一的に「さわやか運動の日」とすることなどを決定(県政総合センター)

自治体・国・社会

- 七日投票。▽出光興産、差益還元の一環として家庭用灯油を来月から二〇円(一八円)程度値下げを発表。▽宮城県女川町漁協臨時総会で漁業権放棄を議決、原発建設へ。29 五十二年国鉄の赤字八、三三九億円、二年間で一兆八千億円。▽東京地検、粉飾決算の不二サッシを強制捜索。▽王選手が八〇〇号ホームラン達成。
- 3 カナダのバンクーバーで水上旅客機が墜落、日本人観光客九人を含む一人が死亡。5 福田首相、中東四か国歴訪へ出発。▽通産省北海道電力を除く電力八社とガス大手三社の円高差益による料金割引申請を認可。
- 8 埼玉県狭山市に自衛隊機が墜落、乗員二人死亡、民家二棟全焼したが住民は無事。10 豊橋市の中神食品工業(株)が、離乳食原料に四年間放射線を照射していたことが明るみに。11 有権者の一票の重さに極端な差があるのは違憲として、神奈川四区らの有権者が起した五十二年一二月総選挙無効確認訴訟棄却(東京高裁安藤裁判長)。13 神奈川二・三・四区など一〇選挙区の有権者による衆院定数違憲訴訟で、議員定数配分規定は違

- 12 一 日吉地区センターがオープン
- 13 一 第一回「みなと経済振興懇談会」開かれる。▽新貨物線問題で国鉄が神奈川區長に、両団結小屋の土地引渡しと小屋の移転を求める代行申請を行う。▽人事委、職員給与を四月に溯って平均三・六八%、七、二九七円引上げ、期末手当〇・一カ月分程度引下げを勧告
- 14 一 新貨物線反対同盟の小屋、市が代行を国鉄に委託して撤去
- 21 一 九月定例会市会始まる。市大・市立高校の授業料値上げ案等三九件の議案上程
- 26 一 横浜商工会議所商業活動調整協議会「丸井」の馬車道商店街への出店を了承
- 27 一 緑区の米軍機墜落事故から一年、荏田町と市庁舎前広場で平和集会開かれる
- 29 一 市会第一委で「横浜シティ・エア・ターミナル設置支援」の陳情書を審査したが、市側の調査結果を待ってから審査すべきとして継続審査に
- 1 一 「ヨコハマさわやか運動」スタート
- ▽市バス・地下鉄値上げ。初乗りバス一〇〇円、地下鉄九〇円に
- 2 一 国鉄横浜線の小机・中山間が複線化
- ▽京急釜利谷開発で地元住民が、市の開発許可と審査請求棄却判決の取り消しを求めて行政訴訟提起
- 3 一 サンジエゴ市友好使節団一行二七人が市長を表敬訪問
- 4 一 市会本会議で市立大学・市立高校の

憲、五十一年総選挙も遠慮だが取り消しは棄却」の判決（東京高裁安岡裁判長）。15 一 台風一八号北九州を直撃、最大瞬間風速四六m、死者不明五人、家屋全半壊一五一戸。25 一 ストマイ訴訟で、三共・科研化学・小玉の製菓三社に八七七九、〇六〇円の賠償責任の判決（東京地裁）。27 一 川崎国際カントリー倶楽部の返還訴訟で、「ゴルフ場と建物を川崎市へ返還、市は倶楽部に一〇億二、八三四万円の損失補償の支払い」を命ずる判決（横浜地裁）。▽プロ野球、パリーグ後期、阪急が前期に続いて優勝。28 一 テレビ音声多重放送始まる。▽ローマ法王、ヨハネ・パウロ一世死去、在位二六日（65才）。30 一 横浜国大で内ゲバ、一人死亡二人重軽傷。▽山岡莊八氏死去（71才）。

1 一 国鉄、特急・急行・寝台料金等値上げ。2 一 五十二年民間企業サラリーマンの平均年取二四六万円で前年比七・三%増（国税庁調査）。4 一 プロ野球セリーグ、ヤクルトが初優勝。7 一 葉山御用邸起工式。▽全国市長会、五十二年度決算状況まとめ。六四五市中赤字は六九市で前年より一〇市減。10 一 本四架橋、児島・坂出ルート着工。▽シユミット西独首相来日。11 一

- 授業料・入学金値上げ案可決。授業料、大学は新入生を対象に五十四年度九万六千円、五十五年度から一四万四千円に、高校は全生徒五十四年度から三千二百円
- 5 一 九月定例会市会閉会。▽瀬谷区で区民会議の要望による魚の安売りがスタート
- 6 一 戸塚地区センター落成式
- 7 一 「横浜市管住宅協議会」が初会合
- 12 一 中区中村川岸の水生活者立ち退き問題で住民と市が団交し、大筋で合意
- 13 一 第二次市民の翼友好訪中団（団長・松宮助役）一行一四〇人が出発
- 16 一 公共事業施行推進本部、本年度上半期の執行状況まとめる。執行額一、二一二億円で執行率七・一%▽金沢の「海の公園」建設工事着手
- 22* 一 旭区大池町の子供自然公園内に「ちびっこ動物園」着工。来年四月開園予定
- 23* 一 「横浜市年齢別人口調査結果（五十二年一五十三三年）」まとまる。五十二年一月一日現在六十五才以上が五・六%に
- 30 一 「前市長・飛鳥田さんのご苦労に感謝する集い」が、市・経済界・労働団体・市民団体等の代表が発起人となって開かれ、七〇〇人が参加（プリンスホテル）
- 31 一 市公害対策審議会、「環境影響評価制度のあり方」について答申。住民の意見書提出を公聴会の前後二回とするなど

原子力船「むつ」、修理のため大湊港から佐世保へ出港。12 一 二兆五千億円の補正予算成立。13 一 神奈川県都計審、野毛三丁目再開発事業など一五件を原案どおり決定。15 一 川崎の老人ホームで集団食中毒、三人死亡。▽作家玉川一郎氏死去（72才）。

16 一 国立立大学共通一次試験の願書締め切り。出願者三万二、五三三人で平均競争率三・七三倍。▽「むつ」佐世保入港。▽日立市で学校帰りの女子中学生が誘かいされ殺される。18 一 日中平和友好条約、国会で承認。19 一 日立市の女子中学生殺人事件で遠縁の男を逮捕。22 一 中国の鄧小平副首相が日中平和友好条約の批准書交換式出席のため来日。▽プロ野球日本シリーズ、ヤクルトが優勝。23 一 日中平和友好条約批准書交換。26 一 ドルー一八〇円割れ。27 一 五十二年度の文化勲章受章者に作家の尾崎一雄氏ら五人。30 一 自治省、五十二年度地方公務員の汚職調査を発表、一四三件で前年より六件減。▽メキシコのロベス・ポルチーヨ大統領が来日。31 一 東京・府中市で小学四年生の女児が授業中教室で首つり自殺。▽経企庁、五十二年度国民生活白書を発表。

資料は「広報よこはま」によったほか、主として神奈川新聞を参考にした。* 印は日付不確定のため新聞発行日。